

エネルギーの総合的な学習に関するアンケート調査の枠組

1. 調査対象地域 : 福井県内全域
2. 調査対象者 : 成人男女
3. 標本数 : 1,500
4. 抽出法 : 層化2段無作為抽出(地点数=約110)
5. 調査方法 : 訪問留置法
6. 調査時期 : 平成13年8月中旬～9月上旬(半月程度)
7. 有効回収率(目標): 70%以上
8. 質問の枠組

(1) エネルギーや環境に関する知識・認識

a. エネルギーや環境全般に関する知識・認識

- ・エネルギーや環境に関する知識水準
- ・エネルギー安全保障の認識
- ・関西地域の消費電力が福井県に依存していることの認識など

b. 地球環境問題に関する知識・認識

- ・地球温暖化の認識
- ・わが国のCOP3目標達成可能性など

c. エネルギー源に関する知識・認識

- ・電源ごとの二酸化炭素排出量
- ・太陽光発電や風力発電の実力
- ・電源ごとの発電コストなど

(2) エネルギー環境教育に対する意識

a. エネルギーや環境に関する教育を受けた経験

- ・エネルギーや環境に関する知識の獲得方法とその効果
- ・原子力施設及びPR施設見学体験など

b. エネルギーや環境教育に関する知識・認識

- ・他府県と比べたエネルギー環境教育の水準
- ・エネルギー環境教育を行える雰囲気の有無
- ・県民に求められるエネルギーや環境に関する知識水準
- ・地域事情に応じたエネルギー環境教育など

c. 小・中・高等学校でのエネルギー環境教育

- ・現在の学校でのエネルギー環境教育の効果
- ・総合的な学習の時間のテーマ
- ・学校教育での外部講師等の活用と希望する外部講師等など

d. 社会・家庭でのエネルギー環境教育

- ・エネルギーや環境が話題になる機会
- ・家庭でのエネルギー環境教育の実行状況など

< 質問例 >

(1)- a . エネルギーや環境全般に関する知識・認識

< 例(1)- a - 1 > あなたご自身は、(1)日本や世界のエネルギー消費量と供給量の関係などのエネルギー問題と、(2)地球的規模で影響し世界各国の人々が幾世代に渡って対策をとる必要があると考えられている地球温暖化などの環境問題について、どれくらいの知識があるとお考えですか。また、福井県の多くの人はどうだと思いますか。(はそれぞれ1つ)

		興味も全くない	少し興味がある	興味がある	かなり興味がある	非常に興味がある
(1)エネルギー問題の知識	ご自身の知識	1	2	3	4	5
	福井県の多くの人	1	2	3	4	5
(2)環境問題の知識	ご自身の知識	1	2	3	4	5
	福井県の多くの人	1	2	3	4	5

< 例(1)- a - 2 > インド・中国などアジア地域の経済発展が進み、これらの国々でエネルギー消費量が増加すると予想される中で、あなたはわが国が今後(約 20 年後程度までを考慮して下さい)も、国民生活の維持に必要なエネルギー資源を、安定して確保できると思われませんか。(は1つ)

1. 確保は非常に困難であり、強い不安を感じている
2. 確保はかなり困難であり、漠然と不安を感じている
3. 確保には多くの困難を伴うが、過去のオイルショック同様、なんとかなると思う
4. 産業界・国民の努力で、十分な量を確保できると思う

< 例(1)- a - 3 > 平成11年度に、関西地域で使用するためにつくられた電力の47%は、福井県から送られたものでした。あなたはこのように、関西地域の電力の半分近くを福井県内で生産していることをご存じでしたか。(は1つ)

1. 全く知らなかった
2. もっと多いと思っていた
3. もっと少ないと思っていた
4. だいたいこれくらいの割合だと思っていた
5. よく知っていた

(1)- b . 地球環境問題に関する知識・認識

< 例(1)- b - 1 > あなたは、二酸化炭素(石油を燃やす火力発電所や車のガソリン消費等で発生)などの、温室効果ガスの増加による地球温暖化問題への取組の必要性を、どのように考えておられますか。(は1つ)

1. 地球の温暖化は起こっていないし、今後も起こらない
2. 地球の温暖化はまだ始まっていない
3. 地球の温暖化は既に始まっているが、特別の対策はまだ不要
4. 地球の温暖化は既に始まっているが、生活に大きな支障が生じない程度に省エネにするなどの対策で、まだ十分防ぐことができる
5. 地球の温暖化は既に始まっているが、直ちに生活水準をある程度落とすなど二酸化炭素排出量を抜本的に減少させる対策をとれば、影響は最小限に留められる
6. 地球の温暖化は既にかなり進行しており、直ちに生活水準をある程度落とすなど二酸化炭素排出量を抜本的に減少させる対策をとったとしても、将来相当の影響がでる

<例(1)-b-2> わが国は、国内の二酸化炭素等の温室効果ガス排出量を、今後10年間で、1990年を基準とした量の6%まで減らすことを目標にしていますが、これを達成するには国全体でたとえば約2割の省エネと、二酸化炭素を排出しない発電方法への大幅な転換などが必要になります。あなたは、6%の削減目標を達成できると思いますか。(は1つ)

1. 今後、目標達成に向けた動きが本格化し達成可能
2. 期限内に達成はできないが、いずれ達成できる可能性だけは期限内に確認できる
3. 排出量は少なからず抑制されるが、目標達成時期の推定は困難
4. 目標達成は全く不可能

(1)-c. エネルギー源に関する知識・認識

<例(1)-c-1> あなたは、次の発電方法が増えることが、地球温暖化の主要な原因になっていると思いますか。(はそれぞれ1つ)

	わ な い 思	な い 思 わ ば	そ と ど ち ら か	そ と ど ち ら か	思 そ う
(1)火力発電	1	2	3	4	4
(2)原子力発電	1	2	3	4	4
(3)太陽光発電	1	2	3	4	4

<例(1)-c-2> 太陽光や風力発電で現在の電力需要をまかなうには、広大な敷地が必要になります。あなたは次のことをご存知でしたか。(はそれぞれ1つ)

	か 全 く 知 ら な い	た と 思 っ て よ い	も と 積 つ て 狭 い	て い 積 つ た と 思 っ て い い	た と 思 っ て い い だ
(1) 太陽電池で福井県の電気を賄おうとすると、一戸建住宅に3kWの太陽光発電装置をつけたとして、223万戸、福井県24万世帯の10倍程度が必要	1	2	3	4	4
(2) 138万kW級の原子力発電と同等の量を発電できる風力発電に必要な敷地は約700km ² で、これは琵琶湖と同程度の広さに相当	1	2	3	4	4

<例(1)-c-3> 原子力発電によって1キロワットアワー(kWh)を発電するのに必要な費用は、石炭火力やLNG火力発電と並んで十分低い水準にあります。あなたはこのことをご存知でしたか。(は1つ)

1. 全く知らなかった
2. もっと高いと思っていた
3. もっと安いと思っていた
4. だいたいこれくらいだと思っていた

(参考)

水力	石油火力	石炭火力	LNG(液化天然ガス)火力	原子力
13.6円	10.2円	6.4円	6.5円	5.9円

注1 平成11年にOECD等の一般試算方法により当時の通産省が試算

注2 主な前提：平成10年運転開始のモデルプラント、40年間の運転を想定

(2)- a . エネルギーや環境に関する教育を受けた経験

<例(2)- a - 1 > エネルギーや環境に関する知識を得るために、(1)あなたが受けられた教育やとられた方法はどのようなもので、(2)その中で、正確な知識を得るのに役立ったと思われる方法はどれかお教え下さい。(当てはまるもの全部に)

	(1) とら られた 教育や 方法	(2) つ 得る た の に 役 立 た 思 わ れ
教育を受けたこともないし、自分から何かをしたこともない	1	1
小学校、中学校または高校で学んだ	2	2
新聞やテレビでたまたま眼についたら、読んだり見たりした	3	3
友人や知人とたまたま話題になったときに、尋ねたり教わったりした	4	4
新聞、雑誌、テレビなどで関連記事・番組があれば、できる限り読んだり見たりした	5	5
県や市町村の広報誌を読んだ	6	6
関連団体、電力会社等のエネルギー事業者が発行している資料やパンフレットを読んだ	7	7
専門書を読んだ	8	8
県や電力会社などのエネルギー事業者のPR施設を見学した	9	9
講演会やシンポジウム、市町村・大学の社会人講座などに出かけた	10	10
インターネットで情報収集をした	11	11
詳しい知識を持っている友人や知人に、尋ねたり教わったりした	12	12
役所や電力会社などのエネルギー事業者に問い合わせた	13	13
その他(具体的に記入して下さい)	14	14

<例(2)- a - 2 > あなたは県内の原子力発電所のそばにある(1)事業者のPR施設や、(2)原子力発電所構内の見学をされたことがありますか。(はそれぞれ1つ)

	わ し な た い い と 思	と だ し が 行 た な つ い た が こ ま	と 1 が 度 あ し た こ	が 度 2 あ し る た 4 こ 回 と 程	て 何 い 度 も 行 っ	た 2 あ し た こ と が い ま さ う が
(1)事業者のPR施設	1	2	3	4	5	6
(2)原子力発電所構内	1	2	3	4	5	6

6を選ばれた場合、その理由をお教えてください。()

(2)- b . エネルギーや環境教育に関する知識・認識

<例(2)- b > エネルギーや環境に関する教育について、次の質問にお答え下さい。
(はそれぞれ1つ)

	な い 思 わ	思 わ な い	ど ち ら か と	思 う ど ち ら か と	そ う 思 う
(1) 全国と比べると、福井県のエネルギーや環境の教育はよく行われているほうだ	1	2	3	4	
(2) 福井県内にはエネルギーや環境に関する教育を行いにくい雰囲気がある	1	2	3	4	
(3) 大電力生産県であることから、福井県民はエネルギーや環境に関して、一般国民以上の知識を持つ必要がある	1	2	3	4	

